広報つなぎ 12月 No.275
昭和63年
発行／津奈木町 編集／企画課 印刷／水俣旭印刷所

人口と世帯（11月1日現在）人口6,094（＋4）・男2,925（＋1）・女3,169（＋3）・世帯1,730（－1）（　）内は前月との比較

浜バイパス完成

平和と繁栄のトライアングル

完成したブロンズ像「風ん子」を囲む子供たち

ブロンズのある橋第三弾、「茜（あかね）橋」が完成し、十一月二十二日除幕式及び開通式が行なわれた。

この日の出席者は、町・県関係者を含め約二百人。六車町長ら八人がテープカットを行い橋の開通を祝った。

又、ブロンズ像「風ん子」の除幕も、制作者岩野亮介氏、六車町長、泉出県青北事務所長により同時に行なわれ、参加者の注目を集めた。

「茜橋」は延長四十三メートル、幅員九・五メートルで、昭和六十年に開通した「あけぼの橋」との姉妹橋。県道岩城湯浦線改良工事の一部として昭和六十二年度に着工した橋で、この完成により浜地区を通らず、スムーズに三号線まで出られるバイパスができたことになる。

茜橋の渡り初め

ブロンズ像「風ん子」は、故岩野勇三氏のエスキースを基に、長男の岩野亮介氏（彫刻家）が制作された。又、この作品の監修を世界的彫刻家でいらっしゃる佐藤忠良氏にお願いし、三者一体となった素晴らしい作品の完成をむかえた。

この「風ん子」は〝たんぽぽ〟の花の種が風に飛んでゆく様を象徴しており、快い南の風に乗って今まさに津奈木の子供達が元気に飛び立とうとしているところを表現している。更にまた、あけぼの橋の「爽風」、津奈木大橋の「薫風」茜橋の「風ん子」の三つのブロンズ像を一緒にすることにより、父と母と子供達の平和で理想的な家庭を表現している。

『平和と繁栄のトライアングル』と名付けられたこの三体の彫刻は私達が熱望して止まない「過疎からの脱却」への力強い道標となってくれることだろう。

生きがい たずねある記（その三）

我が家の加工品

大泊の柳迫妙子さん（五四才）、この度県主催の優良ふるさと食品コンクール「我が家の加工品部門」で金賞を受賞された。受賞した作品は自家製の太刀魚のみりん干し。これはすでに柳迫さんが昨年十月から製品化しておられるもので一本釣りをしていらっしゃる亡主人の則行さんが釣ってきた太刀魚を少しでも有効に使おうとはじめられた。このみりん干しは、冷凍物は使用せず、刺身に使う質の太刀魚を使うため新鮮で、美しいみりん干しができる。

この受賞により、熊本市内の鶴屋等からの注文があいつぎ忙しい毎日とか、ただ冷凍保存を使用しないため平均的な量の確保が出来ないのが難点。

金賞を受賞された柳迫妙子さん

「フレッシュ手造り　つり太刀魚みりん干」は一パック四百円。

注文は七八－二六七七まで―。

又、柳迫さんは十二月十五日に開催された「我が家の料理コンクール」でも優秀賞を受賞されている。このコンクールは米の消費拡大を目的に開かれたもので、すしや菓子類などが出品され、おにぎりを顔に見立てた柳迫さんの作品「おてもやんにぎり」は子供たちが喜んで食べてもらえるようにと工夫されており、出品作品四十八点の中で最も注目を集めた作品のひとつで、今回の受賞となった。

この様に自家加工食品は現在、デーリー食品化しており、ちょっとしたアイデアしだいで、大手企業から声がかかる。これからは量産する食品の時代から質を求める食品の時代へと変わりつつあり、地場産品振興のための大きなチャンスの時期と言える。

とてもかわいい「おてもやんにぎり」

活性化推進委員会第三班（野崎義智・篠原重富・松本修平）愛媛県研修報告

動き出す活性化パワー

松山市の愛媛水産会館に研修。ここでは、水産資源確保のため昭和六十一年に愛媛県栽培漁業基金を設立、二年間で十五億円の資金を県・市・漁協・水産団体・民間団体より確保。稚魚の放流等に努めている。放流する種類は主に、ヒラメ、マダイ、石ダイ、クルマエビ、ガザミ（ワタリガニ）等。

マダイに関しては五センチ位まで中間育成して放流。こうしないと歩留りが悪いとのこと、熊本ではわずか二センチのタイを放流。これでは生存率はきわめて少ないのではないかと思う。

ヒラメについては定着性が強いため放流の効果が出てきていると聞きました。

愛媛県のマリノベーション計画は、これ以上発展するのは難しいと言うことで、熊本のように大規模な計画が実現すればすばらしいことだと思います。

北宇和郡吉田町の宇和青果共同組合は農協が経営する加工工場では最も大きい工場で、加工場、製品ストック、原料の冷蔵貯蔵、出荷場、事務所等、企業なみのシステムです。

愛媛県水産会館にて

加工製品はフルーツゼリーやジュース類で、宇和ブランドで出すのは二〇－三〇パーセント、その他は製品状態でメーカーに販売しメーカー名で出荷します。

原料となる果実ミカンはもちろん地場産ですが、パイン、ピーチ等は外国から輸入しているとのこと、津奈木も地場産の甘夏と他産の物を組み合わせることにより、より内容のでい・五次産業が出来るのではと考えます。

又宇和青果では、営業マンが小売店や消費者に口コミでつたえるほか、全国の主な市場に出荷、特に京浜地区、東京には営業所をかまえ、販売しているそうです。

この宇和青果は、職員二十一名常用が四十名、パートが百－二百名で、完全な独立採算性をとっており、職員の給料、パートの賃金等は工場の売り上げでまかなう完全に独立した工場でした。

12月 PROGRAM プログラム

一日　年末年始交通事故防止運動
四日。津奈木保育園おゆうぎ会
。人権週間　一〇日まで
一二日　体力づくりマラソン大会
改善センター
総合グラウンド
三日　定例議会
一五日まで（予定）
一八日　三太郎駅伝試走会
二〇日　役場御用納め
二九日　年末警戒　津奈木町消防団　三〇日まで
一月
四日　役場御用初め

昭和63年9月診療分医療費速報

	一般	県下の順位	退職者	県下の順位	老人保健	県下の順位
受診者数	914人		172人		386人	
受診率	141‰	1	148‰	19	160‰	1
一人当り医療費	30,915円	10	33,660円	44	67,952円	32

受診率は県下で一位を占めています

津奈木町国民健康保険

鈴木健二さん来町

―文化についての懇談会

「地元の埋もれた文化に発表の場を…」と、熊本県立劇場の鈴木健二館長が十月二十七日来町。町の古い文化芸能について尋ねられました。

又、『緑と彫刻のある町づくり』にも関心をもたれ「文化についての取り組みについては、私どもが見習いたいぐらいです。」と辞され絵画が展示してある庁舎を一周、町職員にもきさくに声をかけておられました。

氏はNHKアナウンサー時代から博識者として知られ、皆さんご存知のとおり『おもしろゼミナール』等で活躍されて、昨年七月NHK退職後、熊本県立劇場に就任されています。

「今後も時間のゆるすかぎり、県内を回り、地元の人々と親睦をはかりたい。」と語っておられました。

暮らしのINFORMATION インフォメーション

衛生係より

がん検診の結果について

昭和六十三年度　胃集団検診及び子宮がん・乳がん検診の結果がわかりましたので、お知らせします。精密検査の必要な方のみに通知しました。通知のない方は、異常ありませんでした。

福祉係より

歳末たすけあい運動

本年もいよいよ、「歳末たすけあい運動」がはじまります。町でも、各病院（施設）に、長期入院（入所）されておられる方や、在宅での長期ねたきりの方、多くの恵まれない方が少しでも、明るい正月を迎えてもらうために、本町でも例年のとおり、各区長さんを通じて「歳末たすけあい運動」を実施していますので、町民皆様方のあたたかい、御協力をよろしくお願い致します。

人権週間

一二月四日～一〇日

皆さんが日常生活を営んでいる中で家庭内や隣人とのいざこざで心配されたり法律上どのようになるのかわからないために困ったりすることがあると思います。

そのような時はお気軽に次の人権擁護委員に御相談下さい。

○田上　智（電話七八－二一八一）
○松本チホ（電話七八－二五三三）

相談は無料で秘密は固く守ります。

墓地について

墓地とは墳墓を設けるために、墓地として都道府県知事の許可を受けた区域をいいます。

「区域外で　墳墓（納骨堂）をつくる事はできません」

墓地、埋葬等に関する法律第二条。

年末年始交通事故防止運動

十二月一日から昭和六十四年一月十日迄、年末年始の交通事故防止運動が行なわれます。

運動の重点

一、高齢者の交通事故防止

道路の横断は、必ず横断歩道を利用する。横断歩道のない所では、左右の安全確認をし、特に車の直前直後の横断は絶対にやめる。

夜間、早朝時の外出は反射タスキ等の着用を。

二、飲酒・暴走無謀運転の追放

年末年始には忘年会や新年会等酒を飲む機会が多く飲酒運転による重大事故が増加する傾向にありますので、地域ぐるみ、家族ぐるみで「飲んだら乗らない。乗るなら飲ませない」の実践をお願いしまけましょう。

三、シートベルト・ヘルメットの正しい着用の徹底

シートベルト・ヘルメットの着用は義務づけられていますが未着用の車を見かけますので、正しく着用しましょう。

四、車両の夕方早目点灯の推進

人や車の動きがせわしくなる夕方に事故が多発しやすくなりますので早目に点灯を

五、歩行者、自転車利用者の明るい服装及び反射材の着用推進

夜間外出するときは明るく目立つ服装や夜光反射材を身につけるよう心がけましょう。

裁判所より

不動産競売の期間入札

入札期間

昭和六三年二月九日から
同　年二月二六日まで

入札物件については当裁判所書記官室で物件明細、評価書等（写し）を閲覧してください。

℡三二－二一七五

八代市西松江城町一－四一
熊本地方裁判所八代支部

防災係より

年末年始の防犯運動

年末年始には、空き巣ねらい、スリ、強盗、自動車盗などの犯罪が多発傾向にあります。特に空き巣ねらいの被害の約六割が「施錠設備なし」「施錠せず」などの「無締り」です。また、人の多いデパートなどでは、スリなどの被害にあないよう注意し、乗物盗にも、ドアロック、ハンドルロックをして防止しましょう。

税務署より

支払調書の提出は一月三一日まで

給料、報酬、料金などの支払者は、支払先の住所、氏名、支払金額などを記載した書類（支払調書といいます）を税務署に提出することになっています。

この支払調書は、その年中の支払分を取りまとめて提出するもので、提出期限は利子、配当などの一部を除き、翌年の一月三一日となっています。

記載誤りのないよう正確に記入し、期限までに提出してください。

詳しいことは、最寄りの税務署や税務相談室にお気軽にお尋ねください。

八代税務署
（電話〇九六五－三二－三一四一）
八代税務相談室
（電話〇九六五－三五－一一七一）
役場税務課
（電話　七八－三一一一）

成人の記念に

成人式を迎える方へ

昭和六四年の成人式を次のとおり開催します。

一、日時　昭和六四年一月三日（火）午前10時～二〇時開式
二、会場　津奈木町改善センター
三、対象　昭和四三年四月二日から昭和四四年四月一日までに生まれた人。尚詳しくは教育委員会事務局へお問い合せ下さい。

（電話　七八－三一一一）

健康へのワンポイント

子どもの肥満解消法

小・中学生の肥満がふえています。子どもの肥満で問題なのは、適切な対策をとれないでいると、七十～八十％が成人の肥満に移行し、成人病になりやすい傾向があることです。栄養のとりすぎによるエネルギーの過剰。受験戦争などによるストレスの増加、塾通いなどによる運動不足など、原因はいろいろ考えられます。しかし、多くのものは本人の努力や家族の協力で改善が可能です。ひとつひとつがこまごまとした生活改善ですが、根気よく積極的に実行したいものです。

①一日二回規則正しい食習慣を。（夜食はやめる。）
②食事はよくかみ、ゆっくり時間をかけて食べる。（食べ物が口の中に残っているうちは、他の食べ物に手をつけない。）
③スープやみそ汁は薄味に。（野菜など量が多くてエネルギーの低いものをいっしょに食べる。）
④おやつは時間と量を決める。（甘いものはやめて、牛乳や果物などエネルギー量の低いものにする。）
⑤早歩きや縄とびなど毎日運動を心がける。（家族、特に母親がいっしょにすると効果的。）
⑥生活の中でからだを動かす習慣を。（ふとんの上げ下ろしなど。）
⑦だらしのない姿勢はやめさせる。（横になったままテレビを見たりマンガを読むなど。）

子どもを成人病から守る食生活

①偏食を避け、バランスのとれた食生活を。（一日三十食品を目標にする。）
②エネルギーのとりすぎに注意しよう。
③甘い菓子、しぶ飲料、果物はとりすぎない。
④一日一回、植物油を使った料理を。（リノール酸を多く含んだ植物油は、コレステロールを減らす働きがある。）
⑤不足しがちなカルシウムを十分に。（カルシウムは骨の強化、心臓の筋肉の強化、イライラの防止など重要な働きがある。）
⑥つす味に慣れさせ、塩分のとりすぎを防ごう。（保健婦）

11月の発注工事

○農村地域定住促進対策事業
郷土文化館建設事業
事業量　木造平屋建三二八㎡
事業費　四四、五〇〇千円
工　期　六四年三月一〇日まで
業　者　前島建設㈱

ご寄付おね

○美術取得基金
町中　田村　正様
大泊　山口勝郎様
山口享子様
○津奈木町社会福祉協議会へ
桜戸　浦口マサヲ様

より、先に開催された、町文化祭において、老人手芸作品の販売益金をご寄附頂きました。

心よりお礼申し上げますとともに、本人の意志に従い、福祉向上に役立たせて戴きます。

ご芳志お礼

地区	世帯主	故人
内野	吉永鹿吉	ツマ
内野	山路　通	茂
日添	篠原一堯	ヤイ
新川	高橋與四三	濱本シヅエ
親族一同		
平国上	濱田清吉	アキエ
新川	濱本喜樂	エキ
日添	高木勝敏	サネ

右のかたがたから町社会福祉協議会へ香典返しとして金一封をご寄附ください。この寄附金は意志に添い有効に利用させていただきますとともに、故人のご冥福を心からお祈り申し上げます

（敬称略）